

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 3月1日

【評価実施概要】

事業所番号	1270700303		
法人名	株式会社 和芳		
事業所名	グループホーム双葉		
所在地	千葉県銚子市松本町 2 - 8 1 0 - 1 0 (電話) 0479-25-6628		
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	2007/2/23	評価確定日	2007/4/30

【情報提供票より】(19年 2月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 3 年 8 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護 1	3	要介護 2	2
要介護 3	0	要介護 4	4
要介護 5	0	要支援 2	0
年齢	平均 86 歳	最低 69 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	海村医院本院・分院、島田総合病院、田村記念病院、おおき歯科
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

入居者の共有スペースはゆったりとした作りで、空調設備もしっかりしている。とても快適な環境である。また、手すりの設置、バリアフリー等の安全配慮がしっかりなされている。サービスについては方針及び理念の共有により、入居者に対する配慮がしっかりなされている。代表者が医師であることから日頃から入居者の状態確認を行っており、職員との連携により安心した介護を提供している。併設の小規模多機能施設や法人内の他の事業所との協力により厚みのあるサービスを行っている。市や地域の方々との交流も定期的に行っており、地域密着型施設としての意識が強く感じられる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、改善課題として入浴の支援方法、コミュニケーション時の声のトーン及びトイレの表示があげられた。入浴については、本人の希望に沿って柔軟な対応をしている。コミュニケーションについては、なるべく近くで声かけ行い声のトーンに注意する意識が感じられる。トイレについては「便所」という表記になっているが、「トイレ」という表記より入居者には伝わりやすいためそのまま継続している。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価により今後の目標を明確にしており、前向きに取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	地域に密着したサービスの向上を目的とし、運営推進会議の構成員と外部評価結果や利用者への取り組みについて積極的に意見交換を行っている。その他、市及び包括支援センターとの連携により施設虐待マニュアルの作成等も行っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	普段の生活状況の報告時に確認をしている。また、意見箱及び相談窓口(3箇所)を設置しており、意見等をあげやすくしている。意見等については複数の視点で検討を行い、今後の運営向上に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ニュースの発行により地域の方々の施設理解に努めている。また、地域やボランティアとの交流を大切にしており、今後、地域密着を主眼にさらなる交流拡大を目指している。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の権利と地域との交流を大切にして、心豊かな生涯が送れる支援を理念としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のミーティングで理念を唱和するとともに運営方針・目標等を話し合い実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隔月発行の双葉ニュースを地域に配布し、施設の理解を深めている。ボランティア等による演奏や踊り等の催しなどを定期的に行ったり、外出時に地域の方々との交流を大切にしている。現在、地区の自治会がないので、当施設を出発点として、さらなる交流を広げたいと考えている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を理解し、改善に取り組んでいる。主な点は本人の希望に沿った入浴支援や声のトーンに留意したコミュニケーションなどである。		

グループホーム双葉【千葉県】

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2 か月に 1 回開催しており、外部評価結果や利用者への取り組みについて話し合いを行い、地域に密着したサービスの向上に努めている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の開催する部会等への参加及び市の地域包括支援センターとの連携により意見交換を行い、サービスの質の向上に努めている。また、市への講師派遣も行っている。		
4.理念を实践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪時または電話・文書で報告をしている。また、双葉ニュースで暮らしぶりなどをお知らせしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、支援に反映させている。また、相談窓口を 3 箇所設置し、複数の視点で検討を行っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動及び離職はほとんどない。事業所内での異動についても、入居者になじみのある職員を配置し、ケアの継続に支障がないように対応している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じ、育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月2回程度病院等の協力により外部研修を行っており、研修内容は回覧等で共有している。また、週に1回内部研修を行い人材育成に努めている。法人に職員育成の研修制度及び資格取得支援がある。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域部会やネットワークを通じた意見交換により、困難事例等の問題を共有し、お互いのサービスの質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	当事業所の通所介護や訪問介護の利用を経て入所する方も多く、事前から馴染みの関係ができている。また、職員の対応により明るくなるなり、場の雰囲気に馴染む方もいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者が食事の準備に積極的に参加しており、職員と共同作業を行っている。また、入居者自身ができることを活用した支援を行う中で、生活の工夫や相手への思いやり等を学んでいる。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや体調にあった生活リズムが作れることを常に心がけている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃のかかわりの中での本人及び家族の思いや、チームの意見を取り入れてカンファレンスを行い作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者の支援方法については、常に話し合いをして検討している。また、医師も同席し定期的なカンファレンスを行い、必要があれば計画の見直しを行っている。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	常に化する要望に対して柔軟な支援をしている。医療体制もしっかりしており、安心した生活環境が確保されている。併設している通所介護も有効活用されている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には協力病院等による定期的な往診及び受診を行っているが、本人が希望するかかりつけ医ある場合は、職員と家族の協力により対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族、医師、職員等で話し合い、ケア対応方針を共有している。特に終末期については医療体制がしっかりしているので、積極的に行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人で過ごす時間が好きな人には、無理強いすることなく入居者の気持ちを尊重しながら対応している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家事、食事等を含め一緒にゆったり過ごせるような配慮をしており、生き生きとした生活ができるように支援している。		

グループホーム双葉【千葉県】

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	BGMに童謡を流したり、一人一人の力に合った対応及び支援を行い、みんなで食事が楽しめる環境が作られている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望を取り入れた入浴時間の配慮をし、気持ちよく入浴できるよう支援している。また、当法人のデイケアを活用した外部での入浴支援も行い、入居者の気分転換も図っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事への参加、施設内でのゲーム・お絵かき・おしゃべり等一人一人の身体機能に合わせて、出番を見出せるよう支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物等で日頃から外出の機会を確保している。その他、外食や季節に合った外出会も企画実行している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵は設置しておらず、また、玄関は日中施錠しておらず開放的にしている。		

グループホーム双葉【千葉県】

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	災害対策マニュアルも整備しており、近隣にも連絡し、定期的に訓練を実施している。	○	災害時に備え、テレビ・キッチンの上部の戸棚を固定されることを望みます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事に関する要望・嗜好調査をしっかりと行い食事提供をしている。栄養士の支援もあり、食事形態の工夫やバランスの良い献立に配慮している。水分補給は入居者の状態に適宜支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は広々としていて日当たりも良い。床暖房の設置によりトイレへの移動時も温度差があまり無く快適に過ごす工夫がなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者各自が使い慣れた家具や身の回り品を持ち込むことで、生活の継続性を大切にしている。また、希望によりフローリングに畳を敷き、和室感覚で暮らせるような工夫もしている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。